

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-179454

(43)公開日 平成 6 年(1994) 6 月28日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 D 30/16	F	9146-3E		
	J	9146-3E		
33/02		6916-3E		

審査請求 未請求 請求項の数10(全 13 頁)

(21)出願番号 特願平4-332863

(22)出願日 平成 4 年(1992)12月14日

(71)出願人 000240123

平田 勲

神奈川県相模原市相模台 3-9-23

(72)発明者 平田 勲

神奈川県相模原市相模台 3-9-23

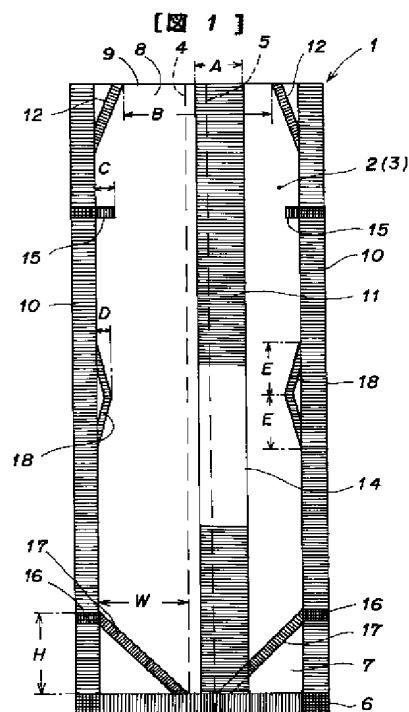
(74)代理人 弁理士 秋本 正実

(54)【発明の名称】 ガゼット袋の簡易容器

(57)【要約】

【目的】 液体等の流動性の有る内容物を比較的多量に充填した場合でも十分に保形性を維持することができることを目的とする。

【構成】 ガゼット袋1の胴部2、3、4、5の4つの折り返し縁部の接着部10の幅を大、例えば6乃至12mmとする。また、ガゼット袋1の胴部2、3、4、5の4つの折り返し縁部に、最端縁部側の非接着部20と、その非接着部20より内側の接着部21とを、それぞれ設ける。この結果、ガゼット袋1の保形性の強度が大となり、液体等の流動性の有る内容物を比較的多量に充填した場合でも、十分に保形性を維持することができる。しかも、4つの接着部10の幅を大となし、又は4つの折り返し縁部に非接着部20と接着部21とを設けるだけなので、現存の機械設備で従来のガゼット袋の簡易容器と同様に製造することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 シート状の材料の両側縁部を接合して筒形状の胴部を形成し、その胴部の正面胴部と背面胴部との間に左側面胴部と右側面胴部とをV字形状に折り込み、前記胴部の下縁を接着して底部を形成すると共に、前記胴部の上縁を切断して開口部を形成し、組み立てると中空の四角柱形状をなすガゼット袋からなる簡易容器において、

前記胴部の、正面胴部と左側面胴部との折り返し縁部と、左側面胴部と背面胴部との折り返し縁部と、背面胴部と右側面胴部との折り返し縁部と、右側面胴部と正面胴部との折り返し縁部と、にそれぞれ設けた接着部の幅を、大としたことを特徴とするガゼット袋の簡易容器。

【請求項2】 胴部の4つの折り返し縁部の接着部の幅は、6乃至12mm好ましくは7乃至10mmであることを特徴とする請求項1に記載のガゼット袋の簡易容器。

【請求項3】 シート状の材料の両側縁部を接合して筒形状の胴部を形成し、その胴部の正面胴部と背面胴部との間に左側面胴部と右側面胴部とをV字形状に折り込み、前記胴部の下縁を接着して底部を形成すると共に、前記胴部の上縁を切断して開口部を形成し、組み立てると中空の四角柱形状をなすガゼット袋からなる簡易容器において、前記接合部が、前記正面胴部、左側面胴部、背面胴部、右側面胴部、のうちの何れか1つの胴部に位置し、前記胴部の、正面胴部と左側面胴部との折り返し縁部と、左側面胴部と背面胴部との折り返し縁部と、背面胴部と右側面胴部との折り返し縁部と、右側面胴部と正面胴部との折り返し縁部と、には最端縁部側の非接着部と、その非接着部より内側の接着部と、がそれぞれ設けられていることを特徴とするガゼット袋の簡易容器。

【請求項4】 胴部の4つの折り返し縁部の最端縁部側の非接着部の幅は3乃至6mmで、その非接着部より内側の接着部の幅は3乃至6mmであることを特徴とする請求項3に記載のガゼット袋の簡易容器。

【請求項5】 胴部の接合部が、正面胴部、左側面胴部、背面胴部、右側面胴部、のうちの何れか1つの胴部の中心に位置することを特徴とする請求項1又は3に記載のガゼット袋の簡易容器。

【請求項6】 上縁開口部に開口を窄めた注ぎ口を形成したことを特徴とする請求項1又は3に記載のガゼット袋の簡易容器。

【請求項7】 正面胴部若しくは背面胴部に、厚紙等の剛性板材からなる把手を、貼着したことを特徴とする請求項1又は3に記載のガゼット袋の簡易容器。

【請求項8】 胴部の上縁部であって、組み立てた際に胴部の上縁部が折り曲げられて屋根部が形成される位置に、屋根部形成用の接着部を設けたことを特徴とする請

求項1又は3に記載のガゼット袋の簡易容器。

【請求項9】 胴部の下縁部であって、組み立てた際に胴部の下縁部が折り曲げられて四角底部が形成される位置に、底部形成用の接着部を設けたことを特徴とする請求項1又は3に記載のガゼット袋の簡易容器。

【請求項10】 胴部の中央部であって、組み立てた際に胴部の中央部が内側に凹んで絞りが形成される位置に、絞り部形成用の接着部を設けたことを特徴とする請求項1又は3に記載のガゼット袋の簡易容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、例えば数種類の合成樹脂フィルムを積層した積層構成材であって、弾力性や柔軟性を有する積層構成材等からなるガゼット袋の簡易容器に係り、特に液体等の流動性の有る内容物を比較的多量に充填した場合でも、充分に保形性を維持することができるガゼット袋の簡易容器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】以下、従来のガゼット袋の簡易容器を図15乃至図17を参照して説明する。図において、1は例えばポリエチレン、ポリプロピレン、ナイロン等の数種類の合成樹脂フィルムを積層した積層構成材であって、弾力性や柔軟性を有する積層構成材等からなるガゼット袋である。なお、このガゼット袋1の積層構成材のうち、内面側の構成材には熱溶着性の合成樹脂フィルムを、外面側の構成材には熱不溶着性の合成樹脂フィルムを、それぞれ使用する。前記ガゼット袋1は、図15に示すように、シート状の材料（積層構成材）の両側縁部を接合して筒形状の胴部を形成し、その胴部の正面胴部2と背面胴部3との間に左側面胴部4と右側面胴部5とをV字形状に折り込み、前記胴部の下縁の部分6を熱接着して底部7を形成すると共に、前記胴部の上縁の部分8を切断して開口部9を形成してなる。このガゼット袋1は、通常胴部が折り畳まれた平面形状で製造される。なお、このガゼット袋1においては、正面胴部2の幅と背面胴部3の幅とが等しく、かつ左側面胴部4の幅と右側面胴部5の幅とが等しく、さらに正面胴部2及び背面胴部3の幅が左側面胴部4及び右側面胴部5の幅より大であり、その結果正面胴部2と背面胴部3との間に左側面胴部4と右側面胴部5とをV字形状に折り込んだ際に、左側面胴部4と右側面胴部5との折込先端が重なり合うのを防ぐように構成されている。前記ガゼット袋1は、組み立てると、図16に示すように、正面胴部2と、左側面胴部4と、背面胴部3と、右側面胴部5と、四角底部7と、上縁開口部9とからなる中空の四角柱形状をなす。かくして、上述の四角柱形状に組み立てたガゼット袋1中に味噌等の内容物（図示せず）を充填し、そのガゼット袋1の上縁部8を熱接着して上縁開口部9を密閉し、内容物を前記ガゼット袋1中に密封する（図17を参照）。そして、前記ガゼット袋1の上縁接着部

8より下方の部分を持ち開いたり、上縁接着部8を剥離して開いたりすることにより、ガゼット袋1中に密封した内容物を使用することができる。かかるガゼット袋の簡易容器としては、実公昭50-28974号公報、実公昭58-20528号公報、実公昭62-17392号公報、実開平1-154134号公報、等に記載のものがある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが、上述のガゼット袋の簡易容器は、弾力性や柔軟性を有する積層構成材等からなるので、保形性が乏しい。このために、このガゼット袋の簡易容器は、液体等の流動性の有る内容物を比較的多量（例えば、500ml乃至1,000ml）に充填した場合、潰れたり変形したりする。従って、上述のガゼット袋の簡易容器は、主に流動性の無い味噌等の内容物の収容に利用されている。

【0004】本発明の目的は、液体等の流動性の有る内容物を比較的多量に充填した場合でも、十分に保形性を維持することができ、しかも現存の機械設備で上述のガゼット袋の簡易容器と同様に製造することができるガゼット袋の簡易容器を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の発明（第1の発明）は、ガゼット袋の胴部の、正面胴部と左側面胴部との折り返し縁部と、左側面胴部と背面胴部との折り返し縁部と、背面胴部と右側面胴部との折り返し縁部と、右側面胴部と正面胴部との折り返し縁部と、にそれぞれ設けた接着部の幅を、従来のガゼット袋の簡易容器の接着部の幅より、大としたことを特徴とする。請求項2に記載の発明は、上述の第1の発明において、胴部の4つの折り返し縁部の接着部の幅を、6乃至12mm好ましくは7乃至10mmとしたことを特徴とする。

【0006】また、請求項3に記載の発明（第2の発明）は、ガゼット袋の接合部を、正面胴部、左側面胴部、背面胴部、右側面胴部、のうちの何れか1つの胴部に位置させ、そのガゼット袋の胴部の、正面胴部と左側面胴部との折り返し縁部と、左側面胴部と背面胴部との折り返し縁部と、背面胴部と右側面胴部との折り返し縁部と、右側面胴部と正面胴部との折り返し縁部とに、最端縁部側の非接着部と、その非接着部より内側の接着部とを、それぞれ設けたことを特徴とする。請求項4に記載の発明は、上述の第2の発明において、最端縁部側の非接着部の幅を3乃至6mmと、その非接着部より内側の接着部の幅を3乃至6mmと、なしたことを特徴とする。

【0007】さらに、請求項5に記載の発明は、上述の第1の発明及び第2の発明において、胴部の接合部が、正面胴部、左側面胴部、背面胴部、右側面胴部、のうちの何れか1つの胴部の中心に位置することを特徴とす

る。

【0008】

【作用】第1の発明は、ガゼット袋の胴部の、正面胴部と左側面胴部との折り返し縁部と、左側面胴部と背面胴部との折り返し縁部と、背面胴部と右側面胴部との折り返し縁部と、右側面胴部と正面胴部との折り返し縁部と、の接着部の幅を、従来のガゼット袋の簡易容器の接着部の幅より、例えば6乃至12mm好ましくは7乃至10mmと、大となすことにより、ガゼット袋の保形性の強度が大となる。この結果、液体等の流動性の有る内容物を比較的多量（例えば、500ml乃至1,000ml）に充填した場合でも、容器が潰れたり変形したりすることがなく、十分に保形性を維持することができる。しかも、胴部の4つの折り返し縁部の接着部の幅を6乃至12mmとなすだけでガゼット袋の簡易容器を製造することができるので、現存の機械設備で従来のガゼット袋の簡易容器と同様に製造することができる。また、第2の発明は、胴部の4つの折り返し縁部に設けた最端縁部側の非接着部により、積層構成材からなるガゼット袋の復元性で、上述の最端縁部側の非接着部がほぼ円筒形状の柱となる。この結果、ガゼット袋の保形性の強度がさらに大となり、液体等の流動性の有る内容物を比較的多量（例えば、1,500ml乃至2,000ml）に充填した場合でも、容器が潰れたり変形したりすることがなく、十分に保形性を維持することができる。しかも、胴部の4つの折り返し縁部に、最端縁部側の非接着部と、その非接着部より内側の接着部とを、それぞれ設けるだけでガゼット袋の簡易容器を製造することができるので、現存の機械設備で従来のガゼット袋の簡易容器と同様に製造することができる。

【0009】さらに、第1の発明及び第2の発明は、ガゼット袋の胴部の接合部を、正面胴部、左側面胴部、背面胴部、右側面胴部、のうちの何れか1つの胴部の中心に位置させることにより、この接合部を位置させた胴部と対向する胴部に注ぎ口を形成し、その注ぎ口から内容物を注ぎ出した場合、上述の接合部が保形用の柱の作用をなす。その結果、注ぎ口から内容物を注ぎ出す際にも、容器が潰れたり変形したりすることがなく、十分に保形性を維持することができる。

【0010】

【実施例】以下、本発明のガゼット袋の簡易容器の実施例のうちの4例を図1乃至図14を参照して説明する。図1乃至図4は第1の発明のガゼット袋の簡易容器の第1の実施例を示し、図1は平面形状に折り畳まれた状態、すなわち製造状態の正面図、図2は四角柱形状に組み立てた状態の斜視図、図3は内容物を充填密封した状態の斜視図、図4は注ぎ口を形成した状態の斜視図である。図中、図15乃至図17と同符号は同一のものを示す。図において、10は接着部である。この接着部10は、ガゼット袋1の胴部の、正面胴部2と左側面胴部4

との折り返し縁部と、左側面胴部4と背面胴部3との折り返し縁部と、背面胴部3と右側面胴部5との折り返し縁部と、右側面胴部5と正面胴部2との折り返し縁部と、にそれぞれ設ける。また、この接着部10の幅を、従来のガゼット袋の簡易容器の接着部の幅より大、例えば6乃至12mm好ましくは7乃至10mmとなす。図において、11はシート状の材料の両側縁部を接合して筒形状の胴部2、3、4、5を形成した際に形成された接合部である。この接合部11は、前記胴部の、正面胴部2、左側面胴部4、背面胴部3、右側面胴部5、のうちの何れか1つの胴部、例えば正面胴部2の中心（ガゼット袋1を組み立てた際の簡易容器の垂直軸方向の中心）に位置させる。この接合部11の幅Aは、例えば約13乃至17mmとする。この接合部11の所定の位置の部分、例えばガゼット袋1の上縁口元からガゼット袋1の全長（ガゼット袋1の上縁口元から下縁接着部6の内側までの高さ）のほぼ5分の3の位置を中心として上下に約25mmずつの範囲の部分（図中においては白ぬき部分）を、片手でガゼット袋1中の内容物を注ぎ出すことができる把手14とする。図において、12はガゼット袋1の上縁開口部に設けた注ぎ口形成用の接着部である。この注ぎ口形成用の接着部12は、前記胴部2、3、4、5の上縁部において、上縁から前記接着部10にかけて、各胴部2、3、4、5毎に2本ずつハの字形状に傾斜させて設ける。この注ぎ口形成用の接着部12は、図4に示すように、ガゼット袋の簡易容器を開封した際の開口9を窄めた注ぎ口13を形成することができる。この2本の注ぎ口形成用接着部12間の幅Bは、例えば約40乃至50mmとする。図において、15は、ガゼット袋1の上縁部に設けた屋根部形成用の接着部である。この屋根部形成用の接着部15は、前記胴部2、3、4、5の上縁部において、前記接着部10から若干中央にかけて水平（ガゼット袋1の上縁又は下縁に対して平行）に設ける。この屋根部形成用の接着部15は、ガゼット袋1中に内容物を充填した際に、図3に示すように、そのガゼット袋1の胴部2、3、4、5の上縁部が、正面胴部2側と背面胴部3側とにおいて、この屋根部形成用接着部15の下縁から折り曲げられて屋根部を形成するものである。この屋根部形成用接着部15の接着部10から中央への突出長さCは、例えば約3乃至7mmとする。図において、16及び17はガゼット袋1の下縁部に設けた四角底部形成用の接着部である。この四角底部形成用の接着部16は、前記胴部2、3、4、5の下縁部であって、前記接着部10において、水平に設ける。また、この四角底部形成用の接着部16は、ガゼット袋1を組み立てた際に胴部の下縁部が折り曲げられて四角底部が形成される位置、すなわちこの四角底部形成用の接着部16の上縁から底部接着部6の上縁までの高さHと、左右両側面胴部4、5の折込幅Wと、がほぼ等しい位置、に設けられている。また、前記四角底部

形成用の接着部17は、前記胴部2、3、4、5の下縁部において、前記四角底部形成用の接着部16から、前記底部接着部6と左右両側面胴部4、5の折込先端との交点まで、の位置に設ける。上述の四角底部形成用の接着部16、17は、図2に示すように、ガゼット袋1中に内容物を充填した際に、胴部2、3、4、5の下縁部が四角底部形成用接着部16の上縁から折り曲げられて四角底部7を形成するものである。図において、18はガゼット袋1の中央に設けた絞り部形成用の接着部である。この絞り部形成用の接着部18は、前記胴部2、3、4、5の中央部であって、ガゼット袋1を組み立てた際に胴部2、3、4、5の中央部が内側に凹んで絞り部が形成される位置に、くの字形状に設ける。この絞り部形成用の接着部18は、図2に示すように、ガゼット袋1を中空の四角柱に組み立てた際に、胴部2、3、4、5の中央部が内側に凹んで絞り部を形成するものである。この絞り部形成用接着部18の接着部10から中央への突出長さDは、例えば約3乃至7mmとし、またこの絞り部形成用接着部18の上縁から中央までの長さE及び中央から下縁までの長さFは、例えば約10乃至20mmとする。この実施例における第1の発明のガゼット袋の簡易容器は、以上の如き構成からなり、以下その製造工程について説明する。まず、シート状の材料（積層構成材）の両側縁部11を接合して筒形状の胴部を形成する。次に、その胴部の正面胴部2と背面胴部3との間に左側面胴部4と右側面胴部5とをV字形状に折り込む。続いて、前記胴部2、3、4、5の下縁の部分6を熱接着して底部7を形成すると共に、前記胴部2、3、4、5の所定の位置に注ぎ口形成用接着部12、屋根部形成用接着部15、四角底部形成用接着部16、17絞り部形成用接着部18をそれぞれ接着する。それから、前記胴部2、3、4、5の上縁の部分8を切断して開口部9を形成する。そして、前記接合部11の所定位置の部分把手14とする。このように製造されたガゼット袋の簡易容器は、図1に示すように、通常胴部が折り畳まれた平面形状の状態にある。

【0011】次に、上述のようにして製造された第1の発明のガゼット袋の簡易容器の使用例について説明する。まず、上述のガゼット袋1を、図2に示すように、正面胴部2と、左側面胴部4と、背面胴部3と、右側面胴部5と、四角底部7と、上縁開口部9とからなる中空の四角柱形状に組み立てる。続いて、上述の四角柱形状に組み立てたガゼット袋1中に流動性の高い液体類等の内容物（図示せず）を充填し、そのガゼット袋1の上縁部8を熱接着して上縁開口部9を密閉し、内容物を前記ガゼット袋1中に密封する。すると、図3に示すように、胴部2、3、4、5の上縁部において、屋根部形成用接着部15により屋根部が形成され、かつ胴部2、3、4、5の中央において、絞り部形成用接着部18により絞り部が形成され、さらに胴部2、3、4、5の下

縁部において、四角底部形成用接着部16、17により四角底部が形成される。

【0012】このとき、この第1の発明のガゼット袋の簡易容器は、ガゼット袋1の胴部2、正面胴部2と左側面胴部4との折り返し縁部と、左側面胴部4と背面胴部3との折り返し縁部と、背面胴部3と右側面胴部5との折り返し縁部と、右側面胴部5と正面胴部2との折り返し縁部と、の接着部10の幅を、従来のガゼット袋の簡易容器の接着部の幅より大、例えば6乃至12mm好ましくは7乃至10mmとなすことにより、ガゼット袋の保形性の強度が大となる。この結果、液体等の流動性の有る内容物を比較的多量（例えば、500ml乃至1,000ml）に充填した場合でも、容器が潰れたり変形したりするようなことがなく、十分に保形性を維持することができる。

【0013】そして、上述のガゼット袋1の上縁接着部8より下方の部分を開いたり、あるいは上縁接着部8を剥離して開いたりする。すると、図4に示すように、注ぎ口形成用接着部12により、胴部2、3、4、5の上縁に、開口9を窄めた注ぎ口13が形成される。その注ぎ口13からガゼット袋1中に密封した内容物を注ぎ出すことができる。

【0014】このとき、第1の発明のガゼット袋の簡易容器は、ガゼット袋1の胴部2、3、4、5の接合部11を、正面胴部2の中心に位置させたものであるから、この接合部11を位置させた正面胴部2と対向する背面胴部3側に注ぎ口13を形成し、その注ぎ口13から内容物を注ぎ出した場合、上述の接合部11が保形用の柱の作用をなす。その結果、注ぎ口13から内容物を注ぎ出す際にも、容器が潰れたり変形したりするようなことがない。特に、上述の接合部11の所定位置の把手14が把手として利用することができるので、片手で、上述の注ぎ口13からガゼット袋1中の内容物を注ぎ出すことが可能となる。

【0015】このように、この実施例における第1の発明のガゼット袋の簡易容器は、液体等の流動性の有る内容物を比較的多量に充填した場合でも、容器が潰れたり変形したりするようなことがなく、十分に保形性を維持することができる。しかも、胴部2、3、4、5の4つの折り返し縁部の接着部10の幅を6乃至12mmとなすだけでガゼット袋の簡易容器を製造することができるので、現存の機械設備で従来のガゼット袋の簡易容器と同様に製造することができる。

【0016】図5乃至図8は第1の発明のガゼット袋の簡易容器の第2の実施例を示し、図5は平面形状に折り畳まれた状態、すなわち製造状態の斜視図、図6は四角柱形状に組み立てた状態の斜視図、図7は内容物を充填密封した状態の斜視図、図8は注ぎ口を形成した状態の斜視図である。図中図1乃至図4及び図15乃至図17と同符号は同一のものを示す。この実施例における第1

の発明のガゼット袋の簡易容器は、胴部2、3、4、5の4つの折り返し縁部の接着部10の幅を、従来のガゼット袋の簡易容器の接着部の幅より大、例えば6乃至12mm好ましくは7乃至10mmとなす。また、胴部2、3、4、5の接合部11を、右側面胴部5の中心に位置させたものである。

【0017】この実施例における本発明の詰替用容器は、以上の如き構成からなるので、上述の第1の実施例のものと同様の作用効果を達成することができる。特に、この実施例においては、胴部2、3、4、5の接合部11を右側面胴部5の中心に位置させたので、図8に示すように、上縁部8のうち左側面胴部4を含む部分を切除して注ぎ口19を形成することにより、右側面胴部5側の接合部11が保形用の柱の作用をなすので、注ぎ口19から内容物を注ぎ出す際にも、容器が潰れたり変形したりするようなことがなく、十分に保形性を維持することができる。また、この実施例のものは、注ぎ口形成用接着部12、屋根部形成用接着部15、四角底部形成用接着部16、17、絞り部形成用接着部18を設けなかったもので、組み立てた際や内容物を充填した際には、上述の第1の実施例の瓶形状に対してはほぼ四角柱形状をなす。

【0018】なお、上述の実施例における第1の発明のガゼット袋の簡易容器は、接合部11を正面胴部2、若しくは右側面胴部5の中心に位置させたものであるが、この第1の発明のガゼット袋の簡易容器においては、接合部11を胴部2、3、4、5の4つの折り返し縁部の接着部10のうちの1つに位置させて、その接着部10と接合部11とを1つにしても良い。

【0019】図9乃至図12は第2の発明のガゼット袋の簡易容器の第1の実施例を示し、図9は平面形状に折り畳まれた状態、すなわち製造状態の正面図、図10は四角柱形状に組み立てた状態の斜視図、図11は内容物を充填密封した状態の側面図、図12は注ぎ口を形成した状態の斜視図である。図中図1乃至図8及び図15乃至図17と同符号は同一のものを示す。図において、20及び21は非接着部及び接着部である。この非接着部20及び接着部21は、ガゼット袋1の胴部2、正面胴部2と左側面胴部4との折り返し縁部と、左側面胴部4と背面胴部3との折り返し縁部と、背面胴部3と右側面胴部5との折り返し縁部と、右側面胴部5と正面胴部3との折り返し縁部と、において、最端縁部側の部分及びそれより内側の部分に、それぞれ設ける。前記最端縁部側の非接着部20の幅を3乃至6mmとなし、またその非接着部20より内側の接着部21の幅を3乃至6mmとなす。このガゼット袋1の接合部11を、正面胴部2の中心に位置させる。このガゼット袋の胴部2、3、4、5に、注ぎ口形成用接着部12、屋根部形成用接着部15、四角底部形成用接着部17を、設ける。また、このガゼット袋1の接合部11の所定位置の把手14を

10

20

30

40

50

把手として利用する。

【0020】この実施例における第2の発明のガゼット袋の簡易容器は、胴部2、3、4、5の4つの折り返し縁部に、最端縁部側の部分に非接着部20を設けたものであるから、その非接着部20が積層構成材からなるガゼット袋1の復元性により、断面は円筒形状若しくは環形状の中空形状の柱となる。この結果、ガゼット袋1の保形性の強度がさらに大となり、液体等の流動性の有る内容物を比較的多量（例えば、1,500ml乃至2,000ml）に充填した場合でも、容器が潰れたり変形したりするようなことがなく、十分に保形性を維持することができる。

【0021】また、この実施例における第2の発明のガゼット袋の簡易容器は、胴部2、3、4、5の4つの折り返し縁部に、最端縁部側の非接着部20と、その非接着部20より内側の接着部21とを、それぞれ設けるだけでガゼット袋の簡易容器を製造することができるので、現存の機械設備で従来のガゼット袋の簡易容器と同様に製造することができる。

【0022】さらに、この実施例における第2の発明のガゼット袋の簡易容器は、上述の第1の発明のガゼット袋の簡易容器と同様に使用することができ、しかも上述の第1の発明のガゼット袋の簡易容器と同様の作用効果を達成することができる。

【0023】図13及び図14は第2の発明のガゼット袋の簡易容器の第2の実施例を示し、図13は平面形状に折り畳まれた状態、すなわち製造状態の正面図、図14は四角柱形状に組み立てて内容物を充填密封した状態の斜視図である。図中図1乃至図12及び図15乃至図17と同符号は同一のものを示す。図において、22は厚紙等の剛性板材からなる把手である。この把手22は、幅が正面胴部2若しくは背面胴部3の幅とほぼ等しいか、若干大きく、かつ長さが約40mmの長方形形状をなす。この把手22の左右両側に折曲線23を設ける。この折曲線23の幅を前記正面胴部2の左右両側の接着部21の内側間の幅とほぼ等しくする。この把手22を正面胴部2の外面に、その把手22の縦方向の中心位置と上述のガゼット袋1の上縁口元からガゼット袋1の全長のほぼ5分の3の位置とを合せて、貼着する。この把手22は、図面では省略したが、ガゼット袋の簡易容器を開封して形成した注ぎ口から内容物を注ぎ出す際に、片手で、注ぎ出すことができる把手として使用するものである。この把手22は、内容物を充填した際の簡易容器の保形性、また内容物を注ぎ出す際の簡易容器の保形性をさらに維持することができる。また、この把手22は、その左右両側に折曲線23を設けたので、正面胴部2の左右両側の非接着部20及び接着部21の折れ曲りに対して追従することができる。図において、24は注ぎ口形成用接着部である。この注ぎ口形成用接着部24は、胴部2、3、4、5の上縁部（図13中二点鎖

線より上の部分）に設けた垂直部と、その垂直部から接着部22まで設けた傾斜部とからなる。この注ぎ口形成用接着部24の垂直部間の幅Fは、例えば約5乃至8mmとする。この注ぎ口形成用接着部24は、口径が小さい注ぎ口を形成することができる。図において、25は屋根部形成用接着部である。この屋根部形成用接着部25は、接着部21から中央にかけてくの字形状に設ける。この屋根部形成用接着部25の接着部21から中央への突出長さDは、例えば約3乃至7mmとし、またこの屋根部形成用接着部25の上縁から中央までの長さE及び中央から下縁までの長さEは、例えば約10乃至20mmとする。なお、接合部11を正面胴部2の中心に位置させる。

【0024】この実施例における第2の発明のガゼット袋の簡易容器は、以上の如き構成からなるので、使用に際して、上縁接着部8より下方の位置（図13及び図14中の破線にて示す切取線26の位置）を切断することにより、口径の小さい注ぎ口（図示せず）を形成することができる。そして、この実施例における第2の発明のガゼット袋の簡易容器は、上述の実施例のもの等と同様の作用効果を達成することができる。

【0025】なお、上述の実施例における第2の発明のガゼット袋の簡易容器は、接合部11を正面胴部2の中心に位置させたものであるが、この第2の発明のガゼット袋の簡易容器においては、接合部11を、必ずしも正面胴部2の中心ではなくて、4つの胴部2、3、4、5のうちの1つに位置させても良い。また、上述の第2の発明のガゼット袋の簡易容器は、上述の第2の発明のガゼット袋の簡易容器の第2の実施例のように、注ぎ口形成用接着部12、24、屋根部形成用接着部15、25四角底部形成用接着部16、17、把手14、22を設けなくても良い。

【0026】

【発明の効果】以上から明らかなように、本発明のガゼット袋の簡易容器は、液体等の流動性の有る内容物を比較的多量に充填した場合でも、十分に保形性を維持することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1の発明のガゼット袋の簡易容器の第1の実施例を示し、平面形状に折り畳まれた状態、すなわち製造状態の正面図である。

【図2】同じく、四角柱形状に組み立てた状態の斜視図である。

【図3】同じく、内容物を充填密封した状態の側面図である。

【図4】同じく、注ぎ口を形成した状態の斜視図である。

【図5】第1の発明のガゼット袋の簡易容器の第2の実施例を示し、平面形状に折り畳まれた状態、すなわち製造状態の正面図である。

1 1

【図6】同じく、四角柱形状に組み立てた状態の斜視図である。

【図7】同じく、内容物を充填密封した状態の側面図である。

【図8】同じく、注ぎ口を形成した状態の斜視図である。

【図9】第2の発明のガゼット袋の簡易容器の第1の実施例を示し、平面形状に折り畳まれた状態、すなわち製造状態の正面図である。

【図10】同じく、四角柱形状に組み立てた状態の斜視図である。

【図11】同じく、内容物を充填密封した状態の側面図である。

【図12】同じく、注ぎ口を形成した状態の斜視図である。

【図13】第2の発明のガゼット袋の簡易容器の第2の実施例を示し、平面形状に折り畳まれた状態、すなわち製造状態の正面図である。

【図14】同じく、四角柱形状に組み立てて内容物を充

1 2

填密封した状態の側面図である。

【図15】従来のガゼット袋の簡易容器を示し、平面形状に折り畳まれた状態、すなわち製造状態の正面図である。

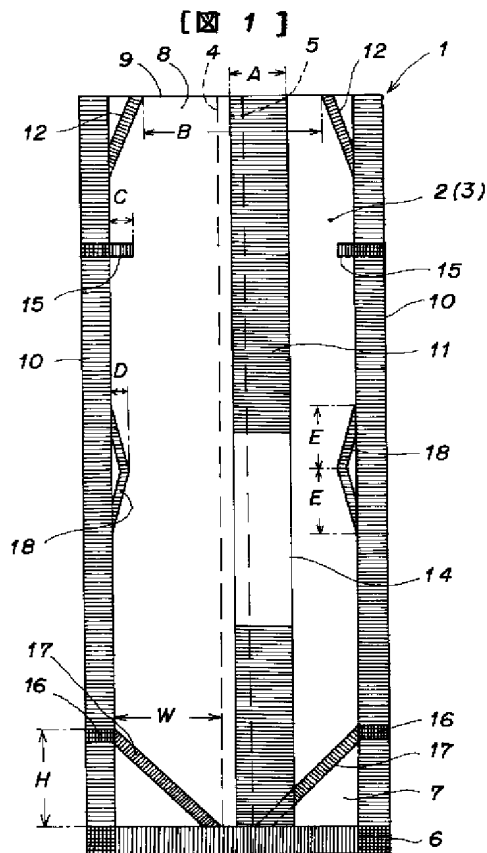
【図16】同じく、四角柱形状に組み立てた状態の斜視図である。

【図17】同じく、内容物を充填密封した状態の側面図である。

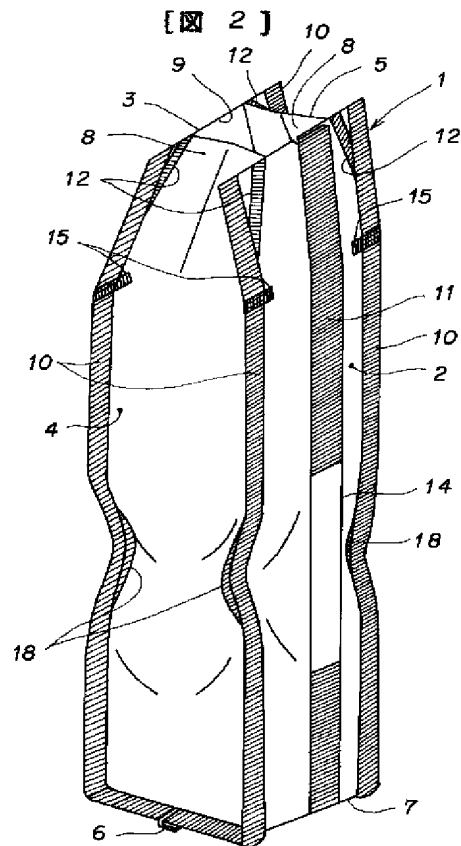
【符号の説明】

1…ガゼット袋、2…正面胴部、3…背面胴部、4…左側面胴部、5…右側面胴部、6…下縁接着部、7…四角底部、8…上縁接着部、9…開口、10…接着部、11…接合部、12…注ぎ口形成用接着部、13…注ぎ口、14…把手、15…屋根部形成用接着部、16、17…四角底部形成用接着部、18…絞り部形成用接着部、19…注ぎ口、20…非接着部、21…接着部、22…把手、23…折曲線、24…注ぎ口形成用接着部、25…屋根部形成用接着部、26…切取線。

【図1】



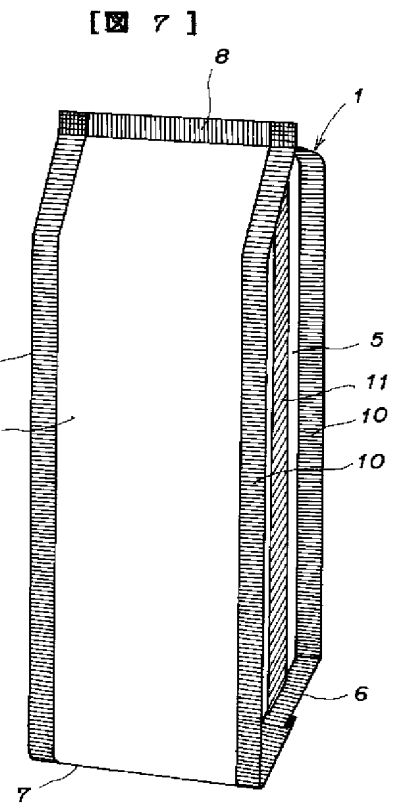
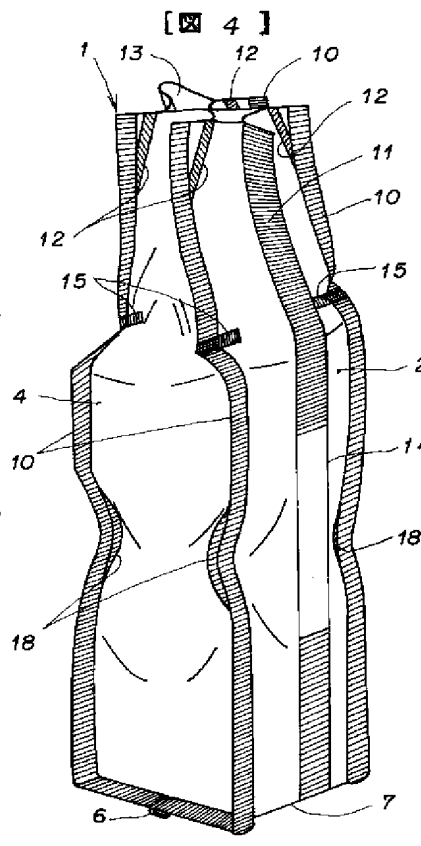
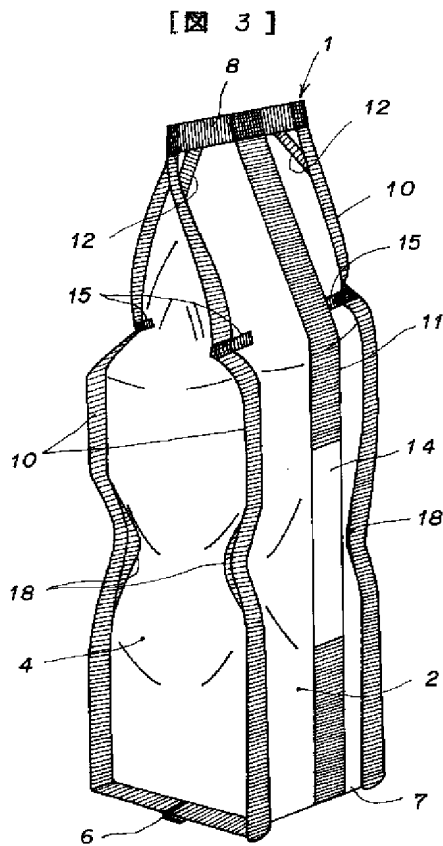
【図2】



【図3】

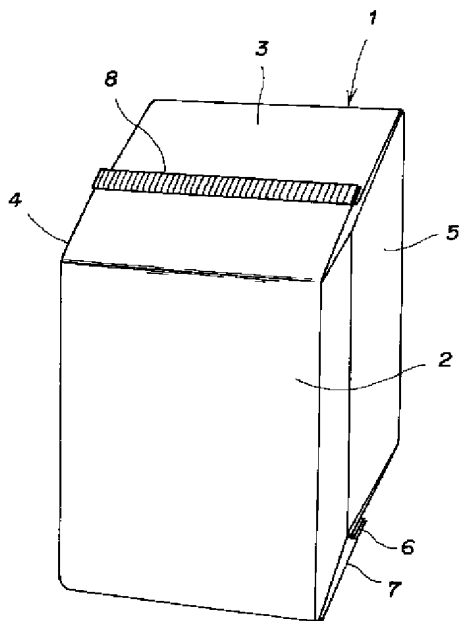
【図4】

【図7】

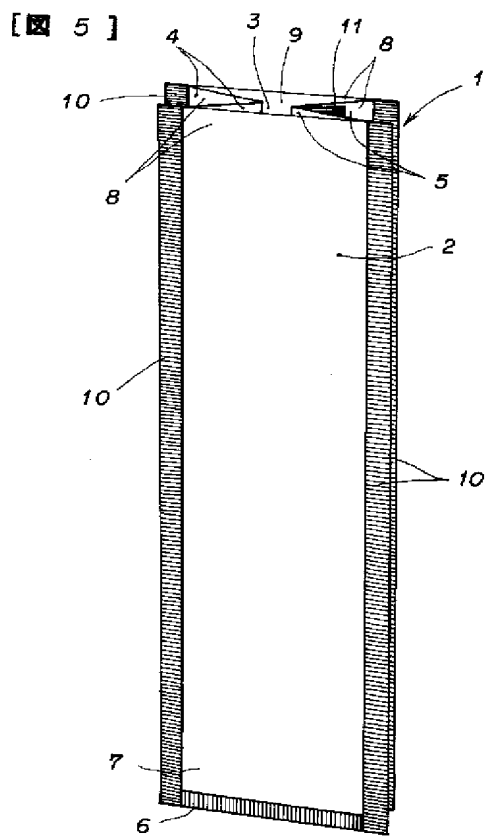


【図17】

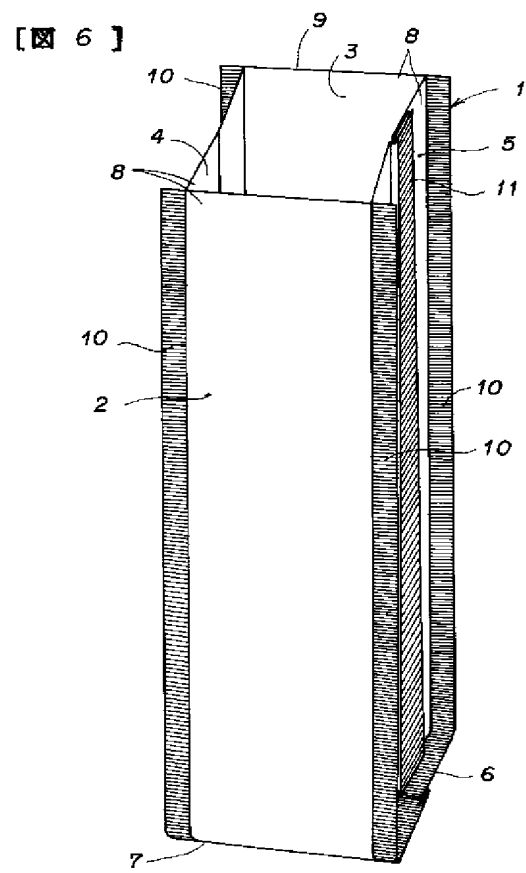
【図17】



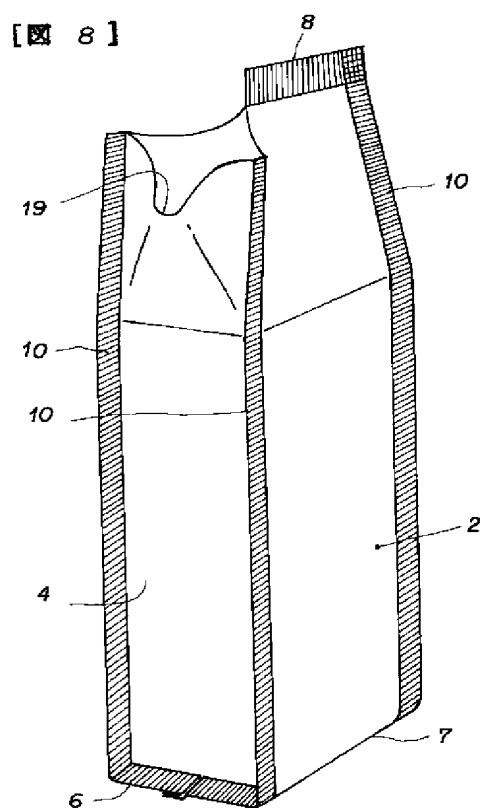
【図5】



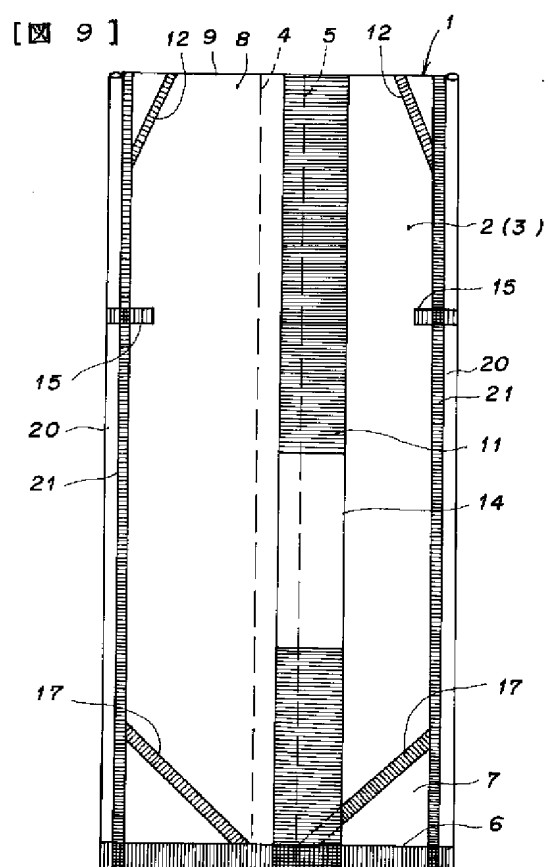
【図6】



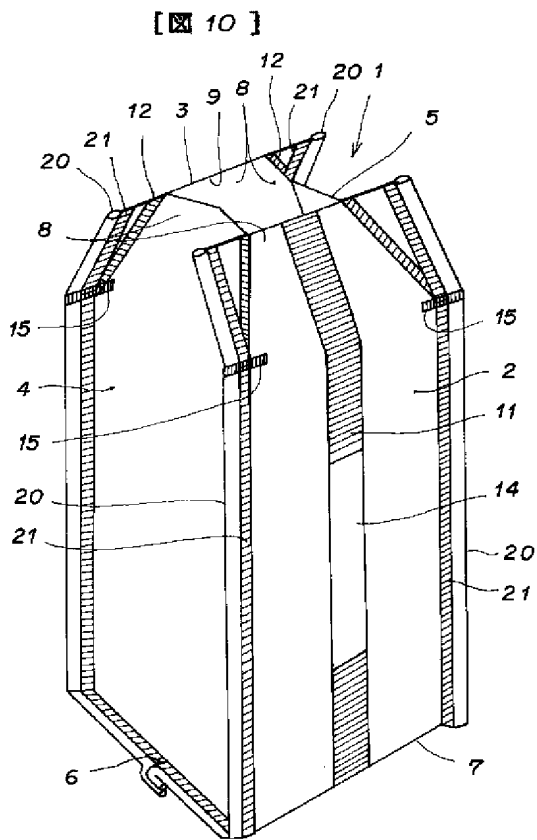
【图8】



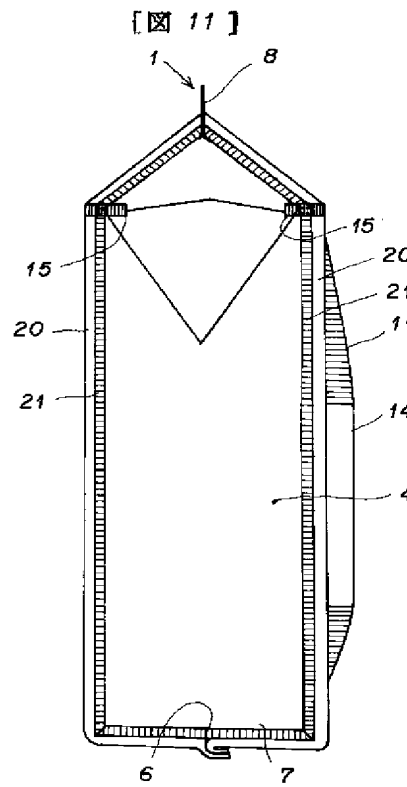
【例 9】



【図10】

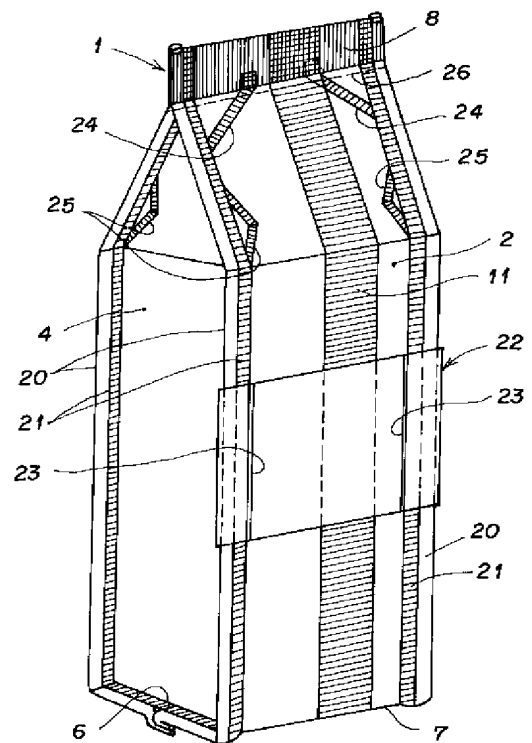


【図11】



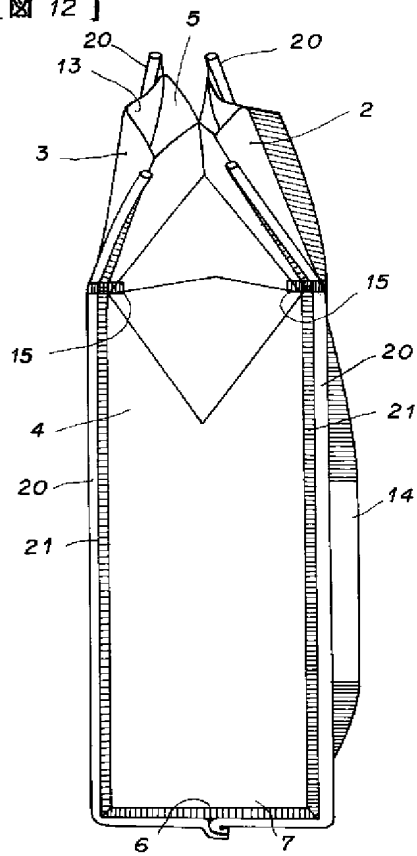
【図14】

【図14】



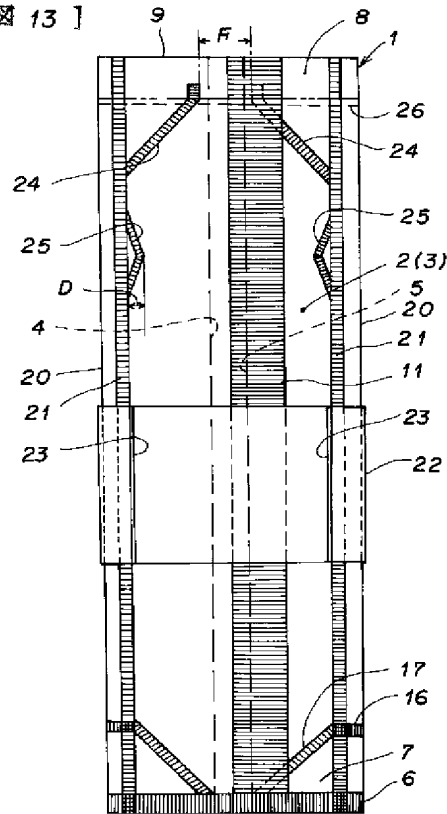
【図12】

【図12】



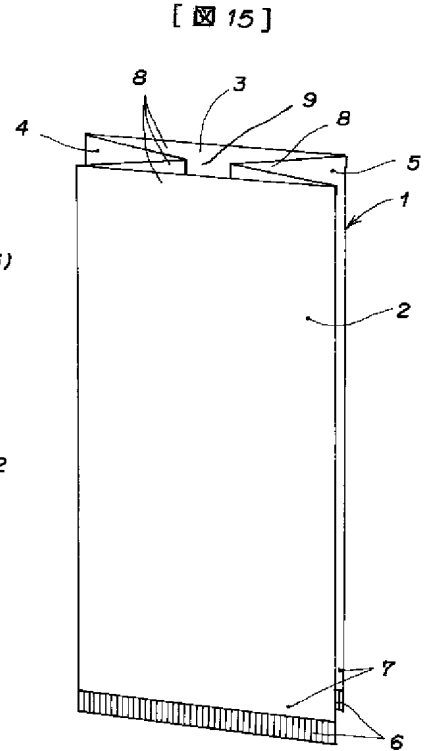
【図13】

【図13】



【図15】

【図15】



【図16】

【図 16】

